



神明われら 誇りは高し

平成28年6月13日

学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

校長 杉山 善之

「地域運営学校」から新しい神明を創り出します

校長 杉山善之

5月臨時評議員会でご意見を伺い、正式に本校も本年10月1日から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づいた「地域運営学校」に衣替えすることにしました。

「地域運営学校」とはコミュニティスクール、略して、CSとも呼ばれています。地域運営学校に衣替えすることによって、生徒の学習活動が変わることはありません。地域運営学校では、評議員会に変わって学校運営協議会が、学校運営の基本方針や教育活動について意見を述べたり、めざす教育方針を実現するために「こんな先生に来てほしい」と教育委員会に意見を述べたりすることができます。保護者や地域＝まちの皆さんの意見を学校運営に反映させながら、学校と一体となって、生徒の健やかな育成とよりよい教育の実現をめざします。学校運営協議会の委員さんは、校長の他、地域＝「まち」の皆さんや保護者の皆さんから構成されます。そういう意味で、「神明中をこういう学校にしたい」という皆さんの思いを地域＝まちの意見として集約し、学校運営に生かしていくことができるようになります。

今、神明中では、これまでの部活動を軸に、生徒が神明在籍中はもちろん、就学前でも卒業後でも、この神明中の施設を使って、スポーツや文化活動ができるように「神明クラブ」の立ち上げに向かって、様々な検討を繰り返しています。実は、この動きも、地域運営学校と同じ方向を向いています。つまり、神明中で学ぶ中学生や就学前の子どもたち、卒業後の社会人の皆さんの学びの活動に、神明の地域＝まちが積極的に取り組んで行く、自分たちで責任をもって支えていく。最近流行の言葉で言えば、「地域＝まちづくりにコミット」しようということです。「いいまちはいい学校を育てる～学校づくりはまちづくり」は、杉並区がめざす教育やまちづくりの基本的な考え方です。

これらは学校希望制がなくなった後の神明中の新しい取り組みです。地域＝まちの誰からも一層信頼される学校になるために、また、前回の学校だよりも記したように「これからの社会」、「これからの神明」を創り出すために、神明中は、人間としての教養に支えられた学力、誤りを恐れず多様なアイデアから洗練された答えを導き出そうとする力（神明版21世紀型能力「わかるからできる」）をもった生徒を育成することを第一にしています。このことは、大人も一緒です。「これまで」学んできたことを教養に、主体的に学習し、「今」学んでいることを積み上げ、「これから」の幸せと豊かさを目指した具体的な行動をおこし、神明中の教育の質的向上とともに神明の地域＝まちの教育力の向上を図ります。